

ラオックスグループ 株主通信 第44期第2四半期

2019年7月19日 (東証2: 8202)



2019年4月～6月 全社トピックス

- 6月19日、第三者割当による新株式及び新株予約権の発行を決議。
中国向け貿易・グローバルEC事業を拡大し収益改善を進める目的で、最大約101億円を調達。
- 併せて、中期経営計画における2020年の数値目標を上方修正。
従来対比では、売上高200億円（1,800億円→2,000億円）、営業利益8億円（40億円→48億円）の増額。

事業別トピックス

■ インバウンド事業

- 不採算店舗の統廃合などの影響により、4月、5月のレジ通過数は前年を下回ったものの、6月はプラスで着地。
- 近年増加するFIT客のニーズに対応するため、新コンセプトの店舗を開発。5月には「和」に特化した新店舗として、京都四条通り店をオープン。当店舗では、日本の伝統工芸品や日本製の化粧品、京都土産の定番である抹茶味のお菓子などを展開。
- 上記のオープンにより、当四半期末の店舗数は39となる。

ラオックス国内免税店舗 レジ通過数

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 2018 | 187,139 | 209,132 | 196,732 | 232,940 | 216,718 | 213,117 | 233,224 | 235,770 | 163,747 | 191,007 | 184,840 | 176,707 |
| 2019 | 178,953 | 180,881 | 217,117 | 221,921 | 213,270 | 215,472 | | | | | | |
| 前年同期比 | 95.6% | 86.5% | 110.4% | 95.3% | 98.4% | 101.1% | | | | | | |
| 四半期比 | 97.3% | | | 98.2% | | | | | | | | |

■ グローバル事業

- 中国大手ECサイトのT-mall Global、Suning.com、Kaola.comに出店している旗艦店はおおむね好調。11月11日の独身の日に次ぐECイベントである6月18日の618セールにより、売上は伸長。
- また、健康サプリなど日本製品に対する中国国内の強い消費に支えられ、貿易も順調に推移。
- 6月には観光客向けナビゲーションアプリのサービスを開始し、現在大規模なプロモーション活動を実施中。
- 第三者割当増資により中国市場の需要を最大限取り込むことで収益機会を拡大。中国国内での貿易・グローバルECの担い手としての地位確立を目指す。

事業別トピックス

■ 生活ファッション事業

- シャディグループは4月、日本企業として初めて中国「緑地グローバル商品貿易港」内の常設展示場に出店。5月には中国大手ECサイトKaola.comに旗艦店を出店。
- またシャディは5月、アジア最大級のジュエリーブランド「周大福」の純金を使用した「純金製 平成・令和元号小判」の販売をスタート。さらに6月より、お中元商戦に向けた新CMの放映を開始。
- 靴グループは女性誌とコラボレーションを行い、パンプスなどのレディースシューズを開発。期間限定で販売している（現在は販売終了）。

「元号小判」広告



シャディTVCM



■ エンターテインメント事業

- 6月、千葉ポートタウンに生鮮品に特化したスーパーマーケット「フードウェイ生鮮びっくり市場 千葉ポートタウン店」を誘致し、新規オープン。
- また6月には、リバーウォーク北九州に九州最大級の屋内型テーマパーク「リバチカ子ども王国 ジャイアントスタジアム」をプレオープン（7月グランドオープン）。
- 昨年秋オープンの完全会員制倶楽部「New City Club of Tokyo」も好評。国内外のVIPのお客様にご利用いただく。
- 今後は新規事業の開発と、収益力の向上に向けた運営体制の構築に注力していく。

ジャイアントスタジアム

